

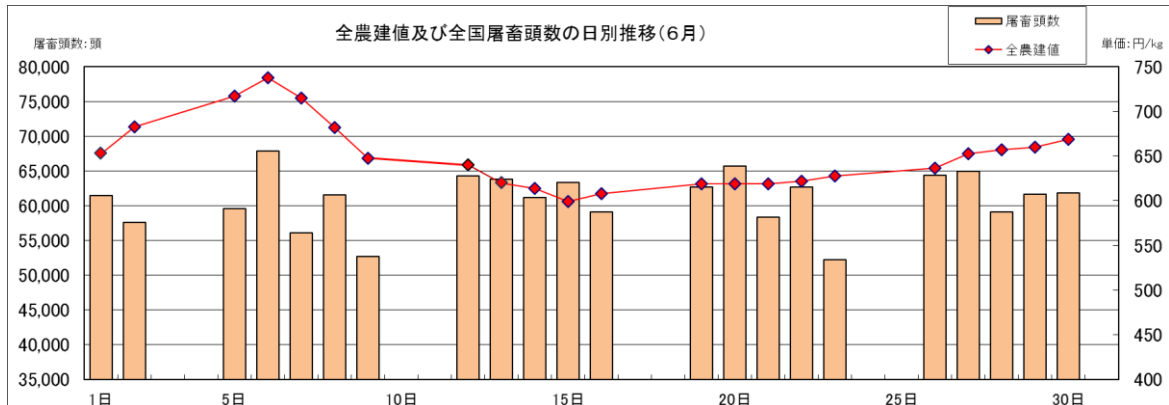
肉豚インフォメーション（6月）

●6月の動向

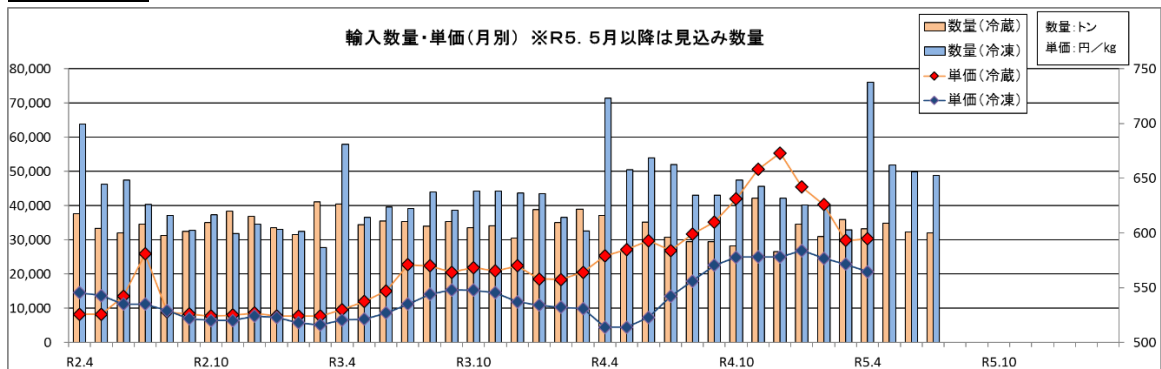
2023年6月（税抜）	2022年6月（税抜）
650 円/kg（ 38 円高 ）	612 円/kg

※全農建値

6月は、出荷頭数が6万頭を切るなど頭数の減少もあり、上旬に700円を超える高値をつけ、中旬は少し緩んだものの下旬にかけて相場は再び上昇し堅調な相場展開となった。

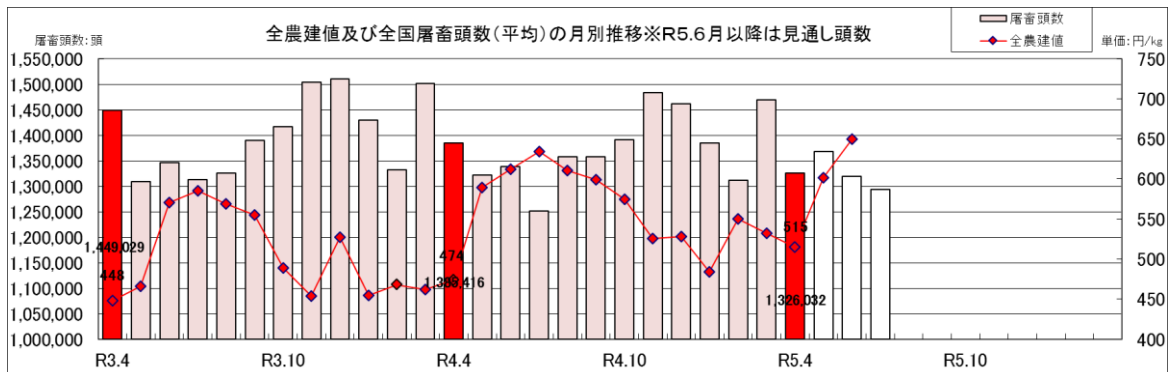


●輸入動向



●7月の動向

7月の出荷頭数は、前年同月をやや上回ると予測されている。



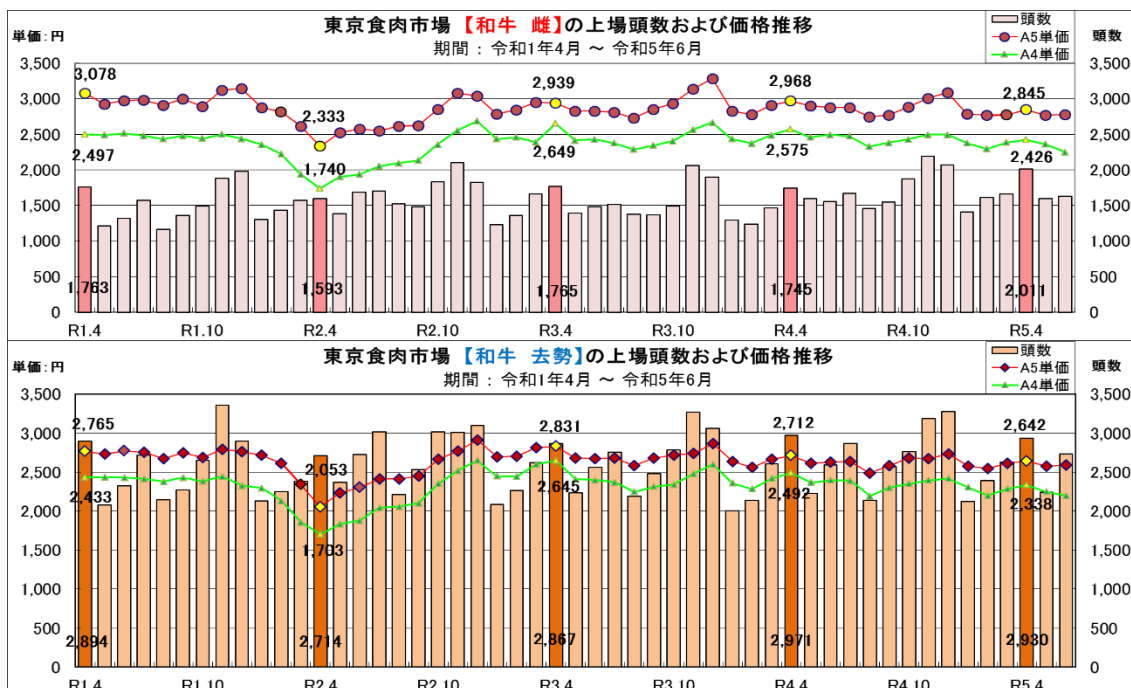
7月の相場は、高値を維持する見通し。

全農建値（税抜）予測レンジは600円～700円とする。

肉牛インフォメーション（6月）

● 6月の動向

末端需要が弱かったものの上場頭数が多くないことで、大きな値崩れはなく弱もちあいで推移した。父の日向けのロースは動いたが、低価格品中心の消費で相場を維持するまでは至らなかった。



● 7月の動向予測

6月に続き末端需要の停滞が継続するとみられており、回復は梅雨明けまでは厳しいと見込む。月後半からの夏季商戦も、卸各社の在庫状況からすると期待薄と予想。

7月相場は「軟調」の展開と予想。

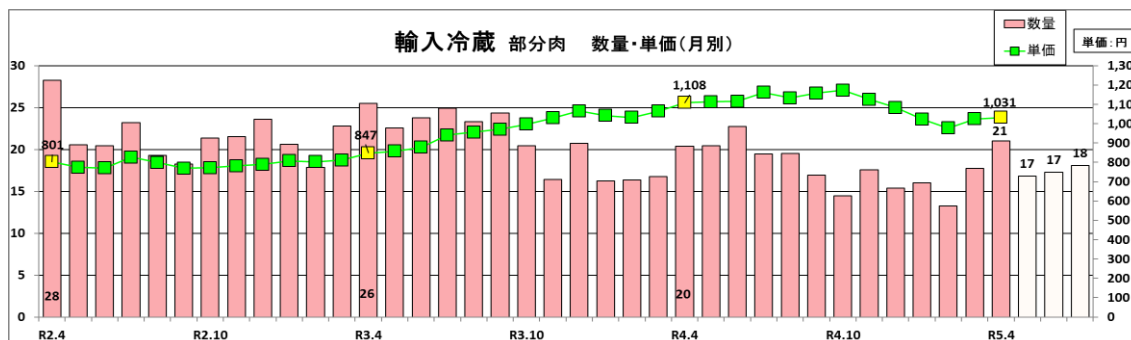
和牛去勢 A5等級 2,550円（税込み） A4等級 2,250円（税込み）

交雑去勢 B4等級 1,550円（税込み） B3等級 1,450円（税込み）

● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、需要が低迷する中、米国産の現地価格の高騰による減少等もあり、6月は大幅に、7月はかなりの程度、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3ヶ月平均でも、前年同期を大幅に下回ると予測する。

（ALIC牛肉の需給予測について6月28日）



食肉インフォメーション（6月）

●消費動向

○牛肉

6月は連休明けの不需要期と値上げラッシュが重なり、安価なスソ物中心の動きとなった。7月はお中元ギフト向けに、ロイン系等の高級部位が動き始めるものの、引き続き安価なスソ物に需要が集まる見通し。

○豚肉

6月は連休明けに加えて出荷頭数減少による相場高騰が影響し、安価なウデ・モモ中心の動きとなった。7月も相場高値・消費鈍化の傾向が続き、スソ物以外の部位の動きは鈍いままとなる見通し。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和5年5月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和3年度5月	11,129	14,559	8,638	25,567	9,779	12,770	5,008	87,450
令和4年度5月	10,841	14,864	8,764	25,745	18,689	10,206	5,786	94,895
令和5年度5月	11,018	13,841	8,644	32,334	19,547	8,273	5,738	99,395
増減 (R5-R4)	177	-1,023	-120	6,589	858	-1,933	-48	4,500
対比 (R3/R5)	99%	95%	100%	126%	200%	65%	115%	114%
対比 (R4/R5)	102%	93%	99%	126%	105%	81%	99%	105%